

研究サークル成果等報告書

1. 研究サークル名

「セカンドキャリアを豊かにする教育プログラム開発」

2. 研究サークル責任者名

内 藤 達 也（講師兼事務局長）

3. 研究サークル活動期間

2024 年 12 月～2026 年 3 月（2026 年度以降も継続）

4. 研究会の趣旨と当年度の研究計画の概要

研究会の趣旨

◇ソーシャル・イノベーション・アカデミーを次の趣旨で 2026 年再起動します。

◇「地域をどうデザインするのか」わたしたちは、ソーシャル・イノベーションを目指す仲間が集い、学び、行動するためのアカデミーです。

◇イノベーションの機会は Public と Private の境界線上にあります。様々な「イシュー」が境界線上につながりを生み出せば、地域、コミュニティの未来を描く新たな解を見出すことができます。

◇わたしたちは、地域課題解決のため、地域自らが取り組むイシューを持つ「きっかけ」を提供します。これからの少子高齢化社会を地域のみなさんとデザインしていきます。

研究計画の概要

今年度は 2026 年 10 月開校を目指し考えられる準備を行っている。

◇アカデミー再起動に向け新たな講師発掘

◇受講生募集ポスター、パンフレット原案作成

◇国分寺市 NPO 連絡会との意見交換

◇国分寺市内におけるフィールドワーク候補地選定

◇アカデミーシラバス原案作成

◇ソーシャル・イノベーション学会大会への講師派遣

◇NPO 法人 and Advance との協働協議

◇その他

5. 研究成果の概要（研究計画に照らして、何をどこまで実現できたか？）

▷新たな講師を数名任命

▷受講生募集ポスター、パンフレットはイメージ擦り合わせ中

▷国分寺市 NPO 連絡会と必要に応じ協働することで合意

▷受講生が行うフィールドワークコースを決定

▷シラバス原案叩き台作成

▷SIA 大会へ 4 人の講師派遣

▷NPO 法人 and Advance との協働決定

6. 年度継続の意向（※どちらかに○をつけてください。）

あり（ ○ ） なし（ ）

7. 研究費の収支報告（※必要に応じて表の行を増やしてください。）

日付	摘要	収入	支出	備考
4. 11	国分寺市 NPO 連絡会意見交換		800	会場使用謝礼
4. 29	定例会会場使用謝礼		800	
5. 11	定例会会場使用謝礼		800	
5. 31	国分寺市 NPO 連絡会意見交換		800	会場使用謝礼
7. 1	SIA 学会ズームミーティング			
7. 6	定例会会場使用料		1, 600	市民活動センタ
7. 9	SIA 補助金	50, 000		
8. 1	IGAI ネットプレゼン打合せ		800	会場使用謝礼
8. 10	定例会会場使用謝礼		800	
9. 4	名刺作成料		7, 750	ALPHATH
9. 6	定例会会場使用謝礼		800	
9. 21	定例会会場使用謝礼		800	
10. 4	SIA 学会年次大会交通費補助		15, 000	5, 000×3 人
10. 26	定例会会場使用謝礼		800	
11. 9	And Advance 担当理事事業説明		800	
11. 16	定例会会場使用謝礼		800	
11. 27	SDGs ツアー参加		6, 000	2, 000×3 人
12. 3	フィールドワーク実踏			市内散策
12. 7	フィールドワーク実踏		4, 050	訪問先土産代
12. 23	シラバス作成打合せ		800	会場使用謝礼
1. 10	定例会会場使用謝礼		800	会場使用謝礼
1, 31	And Advance 理事会事業説明		2, 000	1, 000×2 人
2. 12	シラバス作成打合せ		800	
2. 17	パンフレット作製打合せ		800	
2. 22	定例会会場使用謝礼		800	会場使用謝礼
3. 6	東京大学シンポジウム参加補助		2, 000	1, 000×2 人
3. 22	定例会会場使用謝礼		800	
	合計	50, 000	52, 000	△2, 000

※△2,000 円は、会費（会費年間 3,000 円）より補填